

常任委員会レポート

令和2年度一般・特別・企業会計の補正予算をはじめ、条例の制定・一部改正などの議案を、各常任委員会で審査しました。ここでは、その一部を紹介します。

総務委員会

令和2年度袋井市一般会計補正予算 (第6号)～財産管理費～

Q 災害時非常用電源として電気自動車を3台購入し、避難所以外の分散避難場所を利用することのことだが、どこでの利用を想定しているか。また、3台で1,500万円とは高額ではないか。

A 分散避難場所は各地区の公会堂などで、有事の際に、市内の北部、中部、南部に同時に派遣することを想定した。車両本体価格は1台400万円程度だが、そのままでは電化製品が使用できないため、出力を4,500ワット時まで増幅する付属品を導入する。この機器は、1台約70万円で、予算にはこの経費も計上している。

袋井市営駐車場・自転車等駐車場の指定管理者の指定について

Q これまでの指定管理者の選定結果は、応募者がA、B、C社といった表記だった。今回はなぜ、企業名と得点を公表するのか。

A これまでの指定管理者の募集では、1社からの応募が多く、複数の応募あったときはA、B、C社といった表記で結果を公表していた。県や近隣市の指定管理者選定の公表状況を調べた結果、審査の透明性を図るため公表していることが明らかになったため、公表することとした。今後も企業名と得点を公表していく。

民生文教委員会

令和2年度袋井市一般会計補正予算 (第6号)～予防費～

Q PCR検査助成事業は、全国一律の事業なのか、それとも希望する市町で実施するのか。また、周辺市町の状況はどうか。

A 全国一律の事業ではなく、希望する市町が実施する。県内では10市町が国の補助制度を活用して実施し、65歳以上の高齢者または64歳以下で基礎疾患を有する者を対象者とするのは本市を含めて7市町、介護施設入所者など、対象者を限定とするのは残り3市となっている。

袋井市たばこによる健康への被害から市民を守る条例の制定について

Q 駅は玄関口なので、常にきれいにしておくことが必要と考えるが、袋井駅前喫煙所の継続についてはどうか。

A 喫煙所については、所管の建設課とも協議してきた。基本的には撤去する方向で進めていきたいことに変わりはない。ただ、市民の理解が必要であり、ごみが増える、といった声もある。さまざまなところからの協力や市民の理解の上で、市の目指す方向性を分かってもらえるように、施行日まで継続して取り組んでいきたい。

建設経済委員会

令和2年度袋井市一般会計補正予算 (第6号)～債務負担行為補正～

Q 秋田川改修工事について、工事の施工によりどれくらいの効果があるのか。

A 柳原排水機場への導水路の河床を下げることや高尾第一都市下水路との合流点付近の河川を拡幅することにより、流れが良くなるとともに、排水機場のポンプを早く稼働するといった効果が期待できる。

令和2年度袋井市一般会計補正予算 (第6号)～治水対策費～

Q ゼロ債務負担行為の設定により、工事発注の平準化がどれくらい図られるのか。

A 建設課の所管においては、昨年度は3件、本年度は5件であり、すべて市単独の工事である。近年の市全体における年間の工事発注件数は130件程度であり、平準化率への影響としては数パーセントとなるが、施工内容や工期が異なることから、効果を数値で表すことは難しい。来年度も引き続き、財政課と調整し、工事の早期発注に向け、進めていきたい。